

# 私たちの子孫が ホタルを見て楽しめるように

本当に美しい自然にしか生存しないと  
と言われるホタル。ホタルは自然  
環境のバロメーターとして重要な役  
割を果たしています。

ホタルが放つ光は、見るものに癒  
やしと安らぎを与えてくれます。今  
年も水田や川のほとりは、淡い優し



ほたる観察会で淡いホタルの光を楽しむ参加者

い光で美しく彩られました。

町では、昭和五十八年から自然環  
境保護を推進するために「ホタル飛  
びかう住みよい環境づくり」を目指  
し、町内に生息しているヘイケボタ  
ルの発生状況や生態などの調査研究  
をしています。

今年もヘイケボタルの生息分布調  
査を、六月の下旬から小中学生をは  
じめ多くの皆さんの協力を得て行い  
ました。(調査結果は次ページで掲  
載)

ホタルを身近に感じてもらうため  
六月二十三日と二十四日の二日間、  
ふれあいの森ホタル養殖場で「ほた  
る観察会」を行いました。ホタルを  
通じて環境教育に取り組む東部小学  
校でも六月二十三日に「成虫観察会」  
が開かれました。両観察会には多く  
の参加者が集まりました。

ホタルの人工飼育への取り組みは、  
決して観察会に多くの人を集めるこ  
とを目的に行っているものではありません。  
人工飼育は、ホタルを絶滅の  
危機から保護するために調査研究の  
一環として行っています。

ホタルはいつの時代も人々に愛さ  
れています。昔はどこにでもいたホ  
タルを見るために、多くの人が観察  
会に足を運んでいます。ホタルを動  
物園でしか見ることができない絶滅  
危惧種の動物たちと同じようにしな  
いために、私たちには何ができるで  
しょうか。

ゴミのポイ捨てをしないなど、ゴ  
ミを減らすことは誰にでもできるこ  
とです。その誰にでもできることを  
常に心掛けることがホタル保護の第  
一步です。

私たちの子孫が、さまざまな場所  
でホタルを見て楽しみ、神秘的な光  
に笑顔を浮かべる姿を思い、ホタル  
の保護、環境保護を皆さんといっ  
しょに進めていくことが大切なこと  
だと思います。



東部小学校「ホタルと出会う部屋」で観察をする親子



町のホタルを保護し、ホタル飛  
びかう住みよい環境づくりを呼び  
かける標語を募集しました。  
皆さんの作品を紹介します。

(敬称略)

『自然ある阿久比町が好き  
ホタルもほくも』 岡崎 修平

『ホタルくん今年も会えて  
うれしいよ』 岡崎 佳亮

『自然は、みんなのたから物  
ホタルも、みんなのたから物』  
榊原真太郎

『阿久比町 ホタルも人も  
住みよいまち』 平田 瑞季

『守ろうよホタル飛びかう  
阿久比町』 平田たま子

『ユートピアホタルも一緒に  
住める町』 竹内良太郎